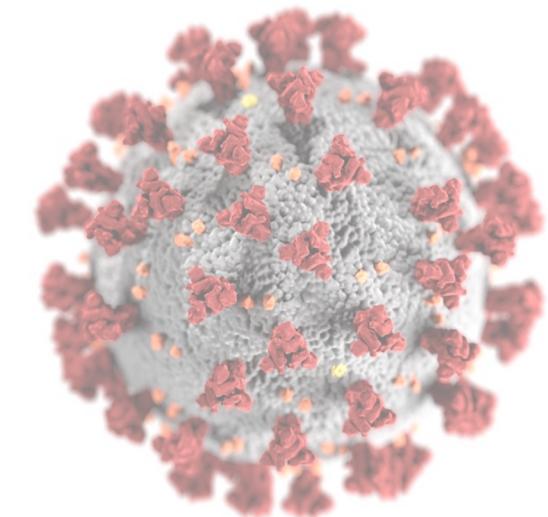


This illustration, created at the Centers for Disease Control and Prevention (CDC), reveals ultrastructural morphology exhibited by the 2019 Novel Coronavirus (2019-nCoV). Note the spikes that adorn the outer surface of the virus, which impart the look of a corona surrounding the virion, when viewed electron microscopically.



COVID-19における「GISと社会」を考える 情報流通とデジタル地図における役割・課題・展望

主催：FOSS4G分科会 with 『友引night!!』

2020年10月23日 (金) 18:30 - 21:00 @ ONLINE!!

Session Organizer : 瀬戸 寿一 (東京大学CSIS)

FOSS4G: Free and Open Source Software for Geospatial

- ① 『OSGeo財団（US 501(c)(4)）は、2006年12月に設立され、高品質のオープンソース地理空間ソフトウェアの支援と構築のために設立（日本を始め各国に支部も）
- ② FOSS4Gという名称は、上記と共に同財団が主催する年次国際カンファレンスの名称を指す

■ OSGeo財団の主なフォーカス

- **誰でも二次利用可能で安定したプロダクトであること**
 - 全てのプロダクトが同じ利用者環境で同時実行できること
 - 主要なプラットフォームOSで動作すること
 - 各国の言語に翻訳が行われること
- **誰でもどこでもGISを用いた地理教育を受ける権利を有すること**
 - 「Geo for all」イニシアチブ（ISPRS-IGU-ICC等とのパートナーシップ）

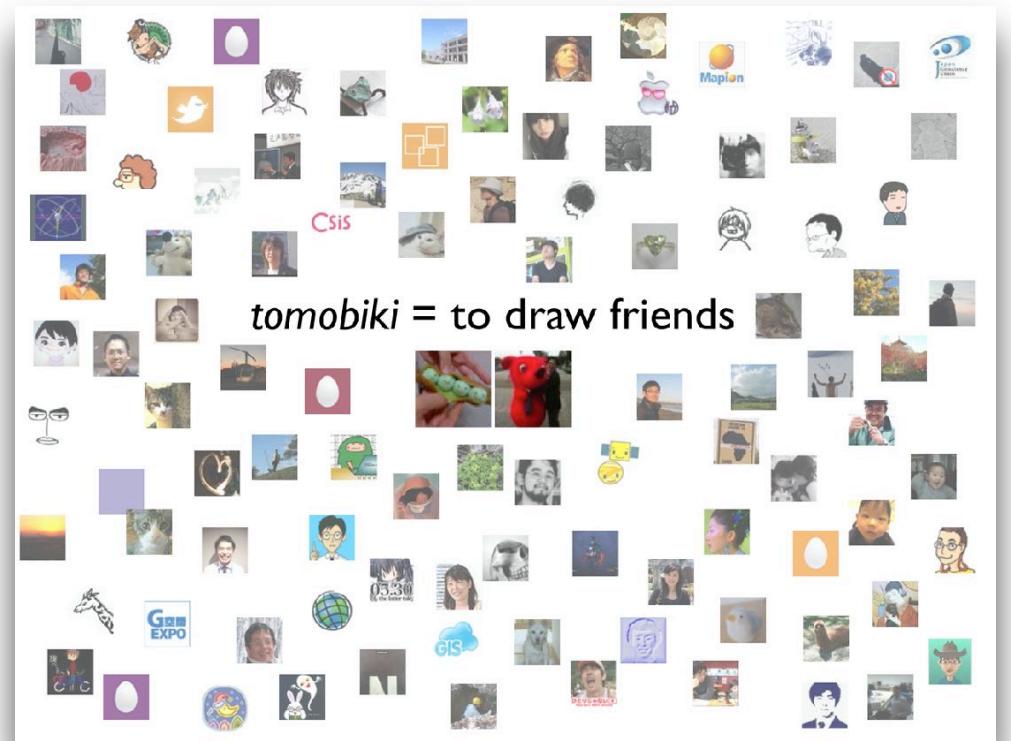
FOSS4G分科会 in GISA

オープンソースGISを始め様々な「オープン」やGISコミュニティの国際動向についての研究・活動

- ① 2009(18): **FOSS4G最前線 フリーでオープンなGIS紹介セッション**
- ② 2010(19): **FOSS4G利用例紹介 & Quantum GIS + Rハンズオンセッション**
- ③ 2011(20): **震災時のオープンデータ・オープンソースによるクライスマッピング & GRASSハンズオンセッション**
- ④ 2012(21): **FOSS4G日本語ローカライズの現状と課題 & RでGISハンズオン**
- ⑤ 2014(23): **オープンなGISはどこまで可能か? Daniel Sui教授を迎えて & QGIS & Rハンズオン**
- ⑥ 2015(24): **アジアにおけるFOSS4Gの現状・データビジュアライゼーションの現在 & Geopaparazziハンズオンセッション**
- ⑦ 2016(25): **オープンデータ時代の地理空間情報の利用を考える(1) & 前日ハンズオン (QGIS, Geopaparazzi, CARTO)**
- ⑧ 2017(26): **今後の地域の情報システム×市民×まちづくりのあり方**
 - ・OpenStreetMapマッピングパーティ / OpenDroneMap
- ⑨ 2018(27): **オープン×シチズンサイエンスによる市民協働と次のステップに向けて**
 - ・QGISハンズオン, mapillary&OpenStreetMapによるマイクロマッピング
- ⑩ 2019(28): **クラウドソース型地理情報の可能性と課題・地図アーカイブの利活用と社会実践**
 - ・QGIS入門ハンズオン
- ⑪ **2020(29): COVID-19における「GISと社会」を考える:情報流通とデジタル地図における役割,課題,展望**

友引night!!とは

- **1月に1回六曜の「友引」の夜に行って
いるジオ系ソーシャルストリーミング
番組**
- 「ジオ」に
**関わるニュースやガジェッ
ト紹介、ゲストトーク**
- facebook liveでリアルタイム配信を行
い、その後youtubeにアップロード
- <https://www.facebook.com/groups/863528430756436>
- <https://www.youtube.com/channel/UCrGyVZYqz6l0Qwm-jQg4bVw>
- お題出しボード
<https://hackmd.io/@nissyyu/rkqk2bJU8>



「友引night!!」再復活と「友引ナイトサロン」開催へ

- 4月以降在宅勤務をしているジオな方々に向けてたまたまストレスを発散させることができる場として、ナイトサロンを開催（酒など持ち込み自由）
- プラットフォーム：facebook live にストリーミング配信
- スタジオ：zoomによる多拠点同時中継
- 頻度：4・5月の「友引」（友引ナイト開催日を除く）
- 時間：19時頃より約3時間
- 話題：フリートーク



By Yuichiro Nishimura

本日の企画趣旨

- 概要：COVID-19の世界規模での感染拡大に伴い、人々の行動制限や意識変化など社会的影響が高まる中で、地理情報に関する情報伝達やコミュニケーションのあり方も劇的に変化した。
- 本セッションでは「GISと社会」というキーワードのもとで、
 - COVID-19に関わる地理情報の視覚化や行動地理学的側面<地図・視覚化・データ分析篇>
 - 社会的影響の相互作用としてオンラインを前提にした教育・協働活動における実践的な取組<教育・コラボレーション篇>に焦点を当て、参加者とともに議論する。

COVID-19地理空間情報・地図化 プロジェクトまとめ

が3分前に変更

編集 フォロー済み ▾

COVID-19地理空間情報・地図化プロジェクトまとめ

tags: COVID-19 Geospatial Geovisualization GIS

- 短縮アドレス : <https://hackmd.io/@tosseto/covid19geospatial>
- ライセンス : クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 (CC-BY 4.0)
- COVID-19に関する、Web地図での視覚化やデータ提供・分析プロジェクトなどのリストです。個人的に確認した範囲で順次加筆修正していますが、完全性は保証できません。その上で、参考になれば幸いです。
- 海外事例については、[Resources for COVID-19 from OGC](#)のリストも参考にしました。
- 情報追加されたい方は、HackMDの機能を使ってログインユーザーであればどなたでも編集可能なので、追加ください。
- 初版作成: Toshikazu Seto
- 関連まとめ: [オープンソースGISの日本語・英語実習教材リスト by "Geo for all" in Japan](#)

日本国内のダッシュボード・地図化 (Japan)

- 新型コロナウイルス感染症 国内事例
 - 厚生労働省
 - 新型コロナウイルス感染症の国内でのサーベイランス報告に基づき、発生した患者の県庁所在地にプロットしたマップ
- 新型コロナウイルス感染速報
 - 自ら収集したデータのため、データが間違っている可能性あり。正確な情報は、厚生労働省などの公的機関の報道を参考にすること。
 - Su Wei氏作成, MITライセンス, [Github](#)
- 都道府県別新型コロナウイルス感染者数マップ

HackMD が公開

2352

<https://hackmd.io/@tosseto/covid19geospatial>

 International Journal of Health Geographics

Home About Articles Collections Submission Guidelines

We'd like to understand how you use our websites in order to improve them.

Editorial | Open Access | Published: 11 March 2020

Geographical tracking and mapping of coronavirus disease COVID-19/severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2) epidemic and associated events around the world: how 21st century GIS technologies are supporting the global fight against outbreaks and epidemics

Maged N. Kamel Boulos & Estella M. Geraghty

[International Journal of Health Geographics](#) 19, Article number: 8 (2020) | [Cite this article](#)

94k Accesses | 11 Citations | 322 Altmetric | [Metrics](#)

Abstract

In December 2019, a new virus (initially called 'Novel Coronavirus 2019-nCoV' and later renamed to SARS-CoV-2) causing severe acute respiratory syndrome (coronavirus disease COVID-19) emerged in Wuhan, Hubei Province, China, and rapidly spread to other parts of China and other countries around the world, despite China's massive efforts to contain the disease within Hubei. As with the original SARS-CoV epidemic of 2002/2003 and with seasonal influenza, geographic information systems and methods, including, among other

<https://doi.org/10.1186/s12942-020-00202-8>

オープンソースGISの日本語・英語 実習教材リスト by “Geo for all” in Japan

オープンソースGISの日本語・英語実習教材リスト by “Geo for all” in Japan

tags: OSGeo Hands-on FOSS4G GIS exercise

日本の大学でも、本格的に春学期のオンライン講義が検討されている中、オンライン講義環境の準備がやっとで、新たな教材作成までとても間に合わない、学生の皆さんも自習したいが、よくわからないという声が徐々に聞かれるようになってきました。 ● COVID-19地理空間情報・地図化プロジェクトまとめ

そこで、いつでも・どこでも・誰でも利用可能な、地理空間情報に関するオープンソースソフトウェア(FOSS4G:Free and Open Source Software for Geospatial)として提供されているものを中心に、使い方の解説や実習に適した教材について、主に日本語と英語で(自由に)再利用できるライセンスで得られる情報をリストアップしています。 [OSGeo.JP](#)

Geo for Allとは、OSGeo財団（高品質のオープンソース地理空間ソフトウェアの支援と構築のための非営利組織）の教育アウトリーチに関する委員会で、「地理空間情報に関する教育と活用機会をあらゆる人々が利用できるようにする」という使命のもとで、国際学会や国際組織であるICA、ISPRS、UN-GIS、AGILE、UCGIS、IGU、その他の世界中の大学やラボと緊密に連携して活動を行うものです。 [Geo for all公式ページ | 瀬戸,2016](#)

説明

リストの短縮アドレス

- <https://hackmd.io/@tosseto/geoforalljapan>

<https://hackmd.io/@tosseto/geoforalljapan>

「参加型GISの理論と応用」ブックチャプターの限定公開

本リポジトリは、『参加型GISの理論と応用～みんなで作り・使う地理空間情報～』(2017, 古今書院) のうち、共編者の瀬戸寿一・西村雄一郎が執筆した下記の章について期間限定で公開するためのリポジトリです。

- 8章 「PGISとオープンガバメント・オープンデータ」 p52-57
- 9章 「PGISとオープンソースGIS・オープンな地理空間情報」 p58-61
- 25章 「大学教育と参加型GIS」 p147-152

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 対応のため、各大学がオンライン授業にシフトする中、地理学、特にGIS（地理空間情報）系の実習科目を中心に、オンライン化に参考となるプログラムやオープン教材などの情報を集約する活動が始まっています。

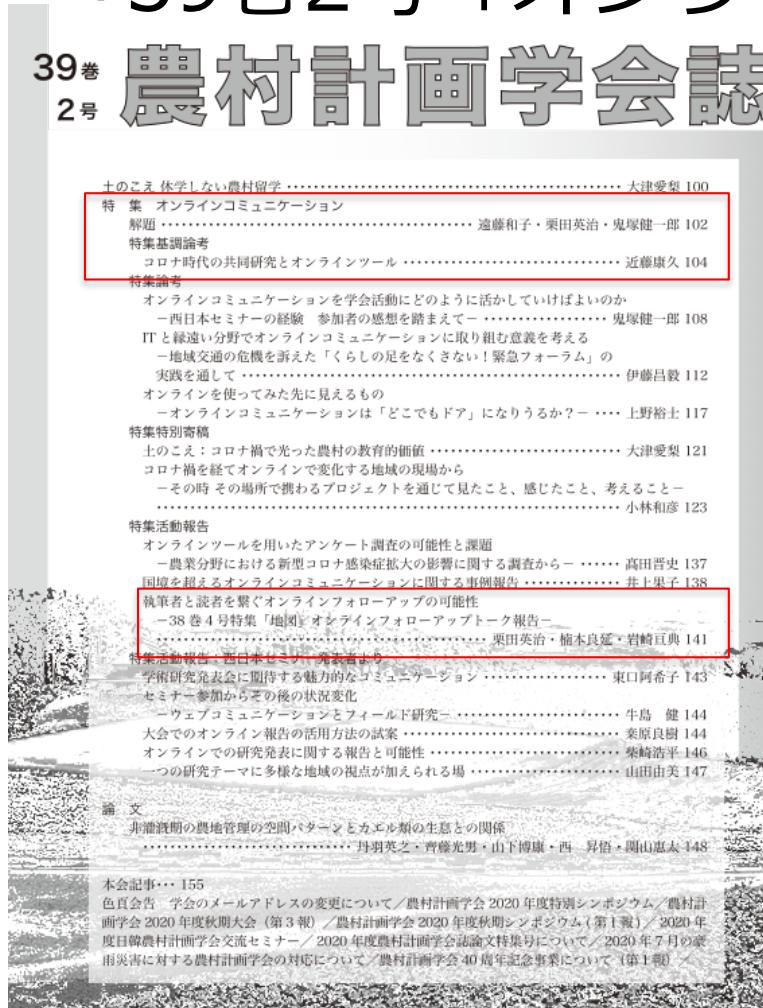
- [オープンソースGISの日本語・英語実習教材リスト by “Geo for all” in Japan](#)

本リポジトリにおける公開部分は、オープンソース・オープンデータと大学地理教育に密接に関わる章です。現在多くの大学で入構禁止の措置が取られており、図書館も閉鎖されているため、教員・学生とも、引用情報だけでは当該書籍の閲覧などを行うことができない状況下にあります。そのため、本書の著作権を所有する古今書院のご理解のもと、インターネット上での公開を行うに至りました。

以上の状況を鑑み、ライセンスはCC BY-NC 4.0 (表示 - 非営利 4.0 国際) いたします。なお本PDFは校閲段階のデジタルデータのため、誤字や最終的な掲載内容と異なる表現等も含まれる可能性があることをご承知ください。

<https://github.com/tosseto/pgis-book-chapter>

農村計画学会:38巻4号特集出版後 「地図」オンラインフォローアップを開催 →39巻2号「オンラインコミュニケーション」へ

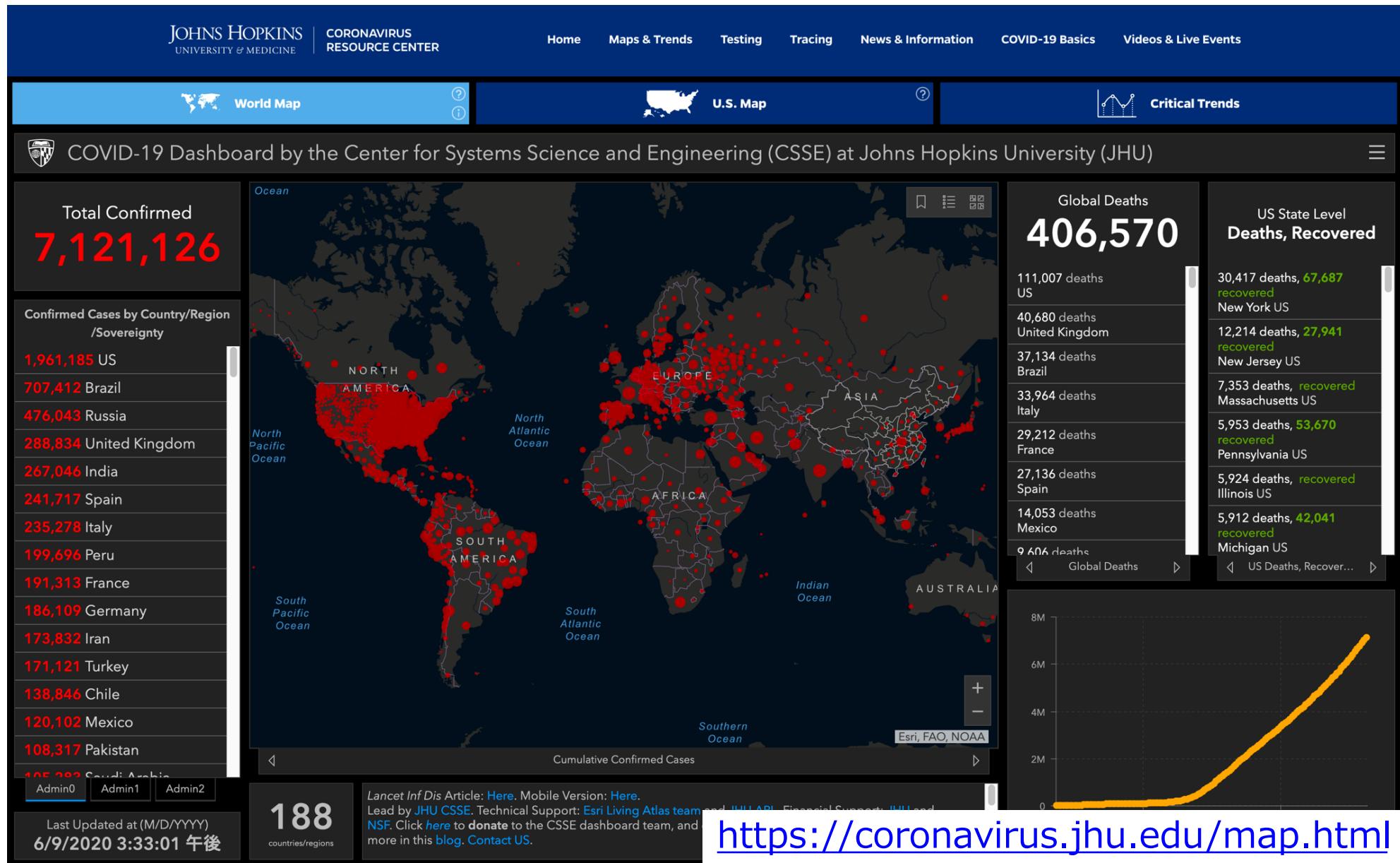


特集 オンラインコミュニケーション	
解題	遠藤和子・栗田英治・鬼塚健一郎 102
特集基調論考	
コロナ時代の共同研究とオンラインツール	近藤康久 104
特集論考	
オンラインコミュニケーションを学会活動にどのように活かしていくべきのか —西日本セミナーの経験 参加者の感想を踏まえて—	鬼塚健一郎 108
ITと縁違い分野でオンラインコミュニケーションに取り組む意義を考える —地域交通の危機を訴えた「くらしの足をなくさない！緊急フォーラム」の 実践を通して	伊藤昌毅 112
オンラインを使ってみた先に見えるもの —オンラインコミュニケーションは「どこでもドア」になりうるか？—	上野裕士 117

- …オンラインフォローアップの開催記事は学会のWebサイトからは見つけられず
- …38巻4号は発行から1年後（2021年3月）にJ-Stageを通じてオープンアクセスに
- …「学会誌の最新号」上は、最新号のみがPDF画像で閲覧できるため、どこにも目次が無い…

~~(一体どうしたらいいのか)~~

世界的にリアルタイムなデータが オープンに → ダッシュボード開発のスピードアップ



東京都 新型コロナウイルス感染症対策 サイトの開設&オープンソース化

→ 各県版のサイトが有志 (Code for X)により開発

東京都

新型コロナウイルス感染症
対策サイト

多言語対応選択メニュー

Lang: 日本語

都内の最新感染動向

- 新型コロナウイルス感染症が心配なときに
- 新型コロナウイルスの感染が判明した方へ
- 家庭でのマスク等の捨て方
- お子様をお持ちの皆様へ
- 都民の皆様へ
- 企業の皆様・はたらく皆様へ

東京都新型コロナウイルス感染症対策本部報

東京都 新型コロナウイルス感染症 支援情報ナビ

都民利用施設・都主催イベントに関する情報

東京都における滞在人口の増減

知事からのメッセージ

検査陽性者の状況

(注) チャーター機船客、クルーズ船乗客等は含まれていない
(注) 「重症」は、集中治療室（ICU）等での管理又は人工呼吸器管理が必要な患者数を計上
(注) 退院者数の把握には一定の期間を要しており、確認次第数値を更新している

陽性者数(累計)	5,381人
入院	271人
軽症・中等症	251人
重症	2人
宿泊療養	5人
自宅療養	1人
入院・療養等調整中	3人
死亡	31人
退院等(療養期間経過を含む)	4,690人

2020年6月7日 18:30 更新

新規患者に関する報告件数の推移

14 人

6/7日別値(前日比:-12人)

tokyo-metropolitan-gov / covid19

Watch 228 Star 5.6k Fork 2k

< Code Issues 82 Pull requests 21 Actions Projects 1 Security 0 Insights

東京都 新型コロナウイルス感染症対策サイト / Tokyo COVID-19 Task Force website <https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>

covid-19

11,459 commits 15 branches 0 packages 421 releases 278 contributors MIT

Branch: development New pull request Create new file Upload files Find file Clone or download

data builder update data Latest commit 8f49577 4 hours ago

.devcontainer VSCode Remote Containers対応 3 months ago

.github fix typo 3 days ago

.vscode add setting file for CodeSpellChecker 3 months ago

assets Update assets/locales/ja.json (#4761) 5 hours ago

auto-i18n Update assets/locales/ja.json (#4761) 5 hours ago

components 「(注)」を\$tタグでかこむ 5 hours ago

data update data 4 hours ago

dist/data Merge branch 'staging' into development 3 months ago

docs Translation completed 27 days ago

layouts +演算子による連結をテンプレート文字列に変更する 4 days ago

ogp_validator インデントの修正 27 days ago

pages generate後のパーマリンクを機能させるためclient-onlyを導入 4 days ago

plugins Merge branch 'feature/4317-add-hospitalized-patients-card' of https://... 17 days ago

status update data 8 hours ago

<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>

Mapping coronavirus, responsibly: Kenneth Field

Mapping coronavirus, responsibly

Mapping

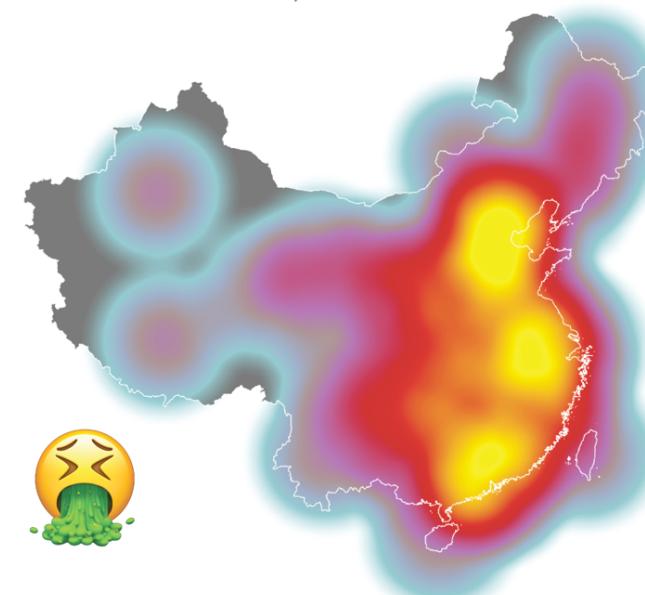
February 25, 2020



Kenneth Field

We live in an amazing time as far as cartography is concerned. Technology allows, and actively supports rapid, democratized mapping. Data, compiled and published in near real-time (if not actual real-time) encourages people to get their hands dirty to see what they can make. Media outlets all rush to provide their audience with fast, visible content. Social media drives sharing of these maps at a breathtaking pace. When you throw in a developing human health story the ingredients are ripe for maps to take centre stage, as they have become with the ongoing coronavirus outbreak. Let's take a look at how maps can help shape the narrative and, as concern (fear?) grows, how to map the data responsibly.

Coronavirus in China: 24th February 2020



<https://www.esri.com/arcgis-blog/products/product/mapping/coronavirus-responsibly/>

ラインナップ（1発表10 min.+a）

- ・ **岩崎亘典（農研機構）**：「COVID-19感染マップに見る地理情報可視化の利点と問題点」
- ・ **鈴木翼（新潟県保健衛生センター）**：「感染症を地図に描くこと～公衆衛生の立場からの課題と展望」
- ・ **西村雄一郎（奈良女子大学）**：「時間地理学と感染症～行動履歴データの分析と可視化について考える」
- ・ **大西宏治（富山大学）** 「COVID-19による子どもの登下校空間の変化：富山市のスマートシティ事業から」

<地図・視覚化・データ分析篇のFAQ Time>

- ・ **古橋大地（青山学院大学）** 「オンライン授業前提社会におけるGIS教育手法の検討と実践」
- ・ **阿児雄之（東京国立博物館）** 「クラウドワークによる図書館・博物館の休館動向調査：新たな全国的動向把握のかたちへ」
- ・ **近藤康久（総合地球環境研究所）** 「コロナ時代の共同研究：オンラインツール利用状況調査をふまえて」

<教育・コラボレーション篇のFAQ Time>

- ・ **残り時間（30分程度）** でさらに議論！… 21:00で締めます！！

ディスカッションのメモ

- コミュニケーションツールと調査ツールの違い・分化
- Web地図はコミュニケーションツール?
 - 情報提供ツールであることは確か。この話はまたの機会に！
- COVID-19禍での博物館・美術館×巡検
 - リアルタイムに現場（オンラインで）聞けるというありがたさも。同時多発的な「現場性」も
 - 集団から個別指導へ（教員免許状更新講習）
 - 知識の伝達くらいであればできるけど、共同作業の部分をどうするか？
- 全国調査の情報の出し方・提供の仕方の標準化
 - 新潟大での経験は強み？地図を使って考える、空間を使って考えることの大しさ（時間・場所・人の要因に）

COVID-19地理学関連論文オンライン輪読会 やってます（隔週木曜日の18:30～）

Article

Dialogues in Human Geography

Geographies of the COVID-19 pandemic

Dialogues in Human Geography
2020, Vol. 10(2) 97–106
© The Author(s) 2020
 Article reuse guidelines:
sagepub.com/journals-permissions
DOI: 10.1177/2043820620936050

COVID-19地理学関連論文オンライン輪 読会

このページは2020年10月より開催予定の、地理学関連オンライン輪読会のエントリーフォームです。

COVID-19によって大学は急速に変化を強いられており2020年度にはオンライン授業が一般化しました。一方、学問の未来を担うべき、若手の大学院生や若手研究者は研究や高等教育に対する政策の影響などで長期的に減少しているため、日常的にディスカッションを行うことが難しくなっており、さらにCOVID-19によって、その状況は悪化しています

そこで今回、英文を中心とするオンライン輪読会を実施しようと企画を立てました

輪読会と銘打ってはいますが、取り扱う題材を切り口としてディスカッションを積極的に行う会にしたいと思います。また、参加者の要望も随時反映させながら、風通し良くカジュアルに参加可能な会にしていきたいと考えていますので、お気軽にご参加ください

日時：第1回 10月8日（木）18時からzoomで開催予定（zoomのURLは連絡先のメールアドレスにお知らせします）。2回目以降は参加者で相談の上スケジュールを決め、頻度は月2回程度行う予定です（人数等により実施形態は変更の可能性があります）。関心はあるけど参加を迷っているという方も初回に参加してみてから、どうするか決めてもらって構いません

対象者：大学院生・大学院進学を考える学生・PD・（自称含む）若手研究者。
※最初は世話人で運営しますが、段階的に学生中心の運営に移行していきたいので積極的な参加よろしくおねがいします！

輪読会の題材：Dialogues in Human Geography Special Issue: Geographies of the COVID-19 pandemic

